

ミヤマサナエ

Anisogomphus maacki

種名



分類

昆虫綱トンボ目サナエ科ミヤマサナエ属

俗称

形態的な
特徴

体長約 50～55mm、後翅長約 31～33mm。中型のサナエトンボで、後肢の腿節がひじょうに長く、下側に剛針列があるのが特徴。

分布

本州、四国、九州に分布する。

繁殖行動

成虫期は6月上旬から9月上旬で、とくに7月下旬に山頂付近で多く見られる。

生息場所

大河の下流域で発生し、羽化後山中に入り、稜線や山頂近くで生活の後、秋に再び、下流域に飛来して、産卵する。

生息環境への
配慮事項

引用文献：改訂新版 世界文化生物大図鑑 昆虫 ミヤマサナエより